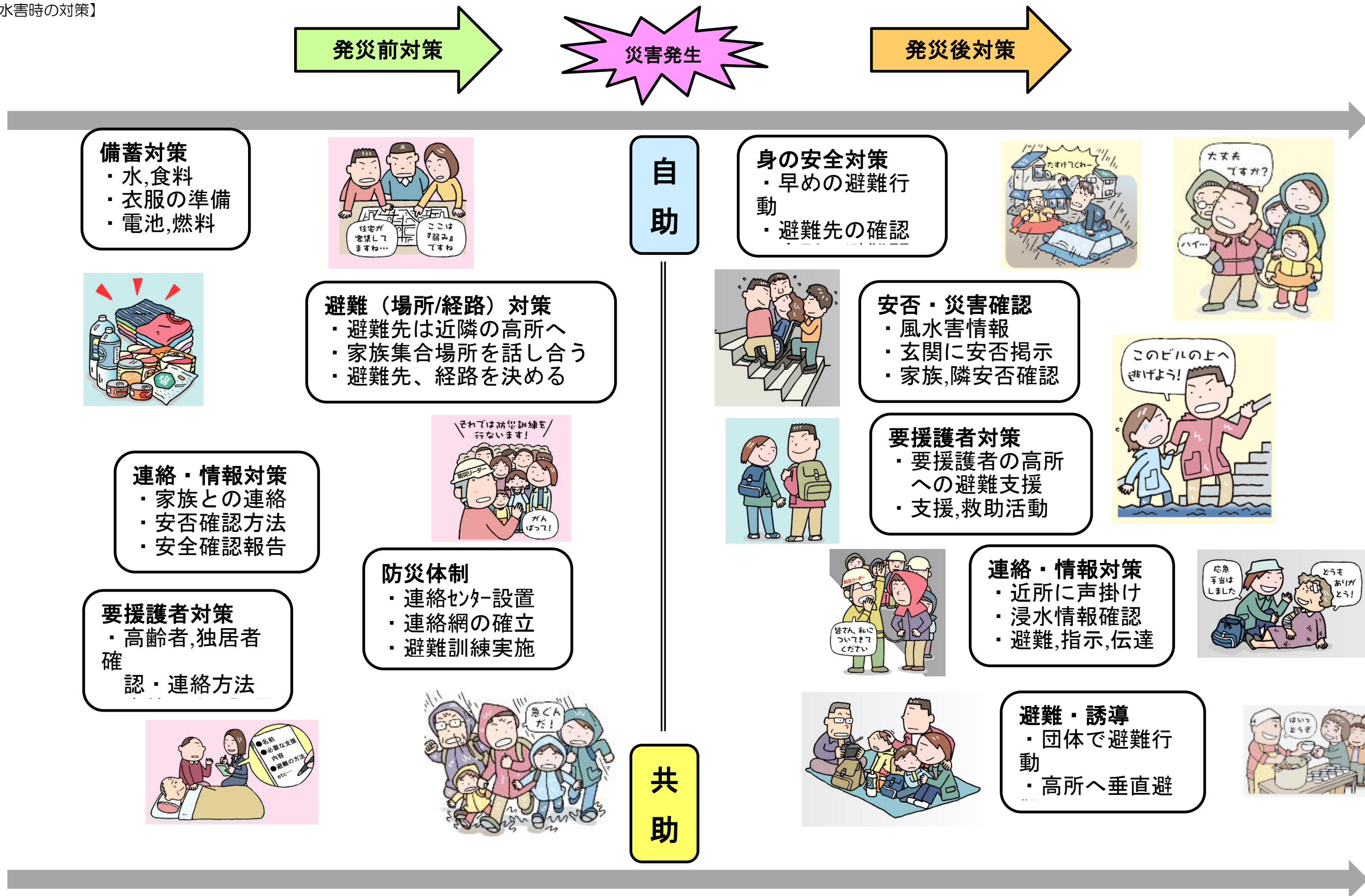


5.具体的な防災・減災対策

【水害時の対策】



発災前対策

災害発生

発災後対策

備蓄対策
・飲料水,食料
・衣類を準備



転倒防止対策
・大型家具の固定
・ガラス飛散防



避難（場所/経路）対策
・家族と話し合い決定
・家族集合場所を確認



連絡・情報対策
・情報確認方法
・家族との連絡
・安否確認方法

要援護者対策
・高齢者,一人暮らし者の確認



防災訓練
・実践的避難訓練
・避難訓練

防災資機材準備
・消火器設置
・拡声器備蓄
・防災物資等備

自助

身の安全対策
・自分の体を守る
・周囲,家族の確



家族・安否確認
・家族安否確認
・建物,火災確認
・災害情報確認



要援護者対策
・要援護者の支援
・声掛け避難



連絡・情報対策
・建物、火災確認
・災害情報の受



避難・誘導
・声掛け避難行動
・一時避難所へ



共助

住民の防災講演会やワークショップへの参加により、地域での防災・減災への取り組みとして、発災前・発災時等と、自助(自分・家族での取り組み)・共助(地域での連携の取り組み)に区分して整理した。

■水 害

【自 助 発災前】

- 避難(場所/経路) 対策 避難場所・避難経路の確認
浸水時の避難先を家族と話し合う
水害時の避難は近所の高い建物へ

- 連絡・情報対策 家族との連絡方法を決めておく
(安否確認等) 町会名簿の整備
ラジオの安否情報を活用する

- 防災用品備蓄対策 水・食糧を個人で備蓄する
防災グッズの常備
服装の準備
車椅子、タンカを用意する

【自 助 発災後】

- 身の安全対策 早めの避難行動
避難先の確認
避難の開始

- 連絡・情報対策 風水害情報を得る(ラジオ・携帯)
災害情報を聞く
安否確認情報

【共 助 発災前】

- 災害時要援護者対策 高齢者、独居者の把握
支援の必要な人の名簿の作成
救助にあたる協力者を決めておく
近隣の災害時要援護者援護の確認
車椅子、タンカ等移動手段の確保

- 連絡・情報対策 安全確認の連絡網の強化
安否確認の方法確認

○資機材・備品 消火器設置
拡声器設置
車椅子、タンカ等を常備

○防災体制 連絡センターを設置
連絡体制を事前に決めておく
避難訓練により連絡網の確立

【共 助 発災後】

○災害時要援護者対策 要援護者を安全な場所に移動支援
災害時要援護者を 3 階以上に避難支援

○連絡・情報対策 風水害情報の確認
近所に声掛け、確認
安否情報、連絡、報告

○避難・誘導 低層階の人を 3 階以上に誘導する
避難先の安全性を確認
高所への垂直避難誘導

■地 震

【自 助 発災前】

○避難(場所/経路)対策 家族で避難経路を決めておく
家族の集合場所を確認しておく
避難場所・避難経路の確認

○連絡・情報対策 家族同士の連絡方法確認
情報確認方法の検討
安否確認方法の確認

○備蓄対策 飲料水、食量の個人での備蓄（3～5日分）
普段から非常持ち出し品を常備しておく
車椅子、タンカの増備

○転倒防止対策 家具の転倒防止対策
ガラス戸に飛散防止フィルムを貼る
家具の固定対策

○火 災 消火器設置する
消火栓の確認をする
火災発生時に隣近所に知らせる

【自 助 発災後】

○地震直後 自分の身体を守る
家族の安全を確認する
避難口（ドア）開放・確保

○連絡・情報対策 安否確認など声を掛け合う
建物・火災の確認
ラジオなどで災害情報の受信、確認
近所の安否確認

【共 助 発災前】

○連絡・情報対策 安否確認方法の確認
ラジオ等で情報確認
災害伝言ダイヤル（171）の活用

○要援護者対策 高齢者、災害時要援護者の確認・把握
要援護者の避難支援の段取り、担架を置いておく
前もって複数の支援者を決めておく
災害時要援護者の搬送方法

○防災訓練 避難訓練の実施と参加

○防災資機材準備 各班に拡声器を常備
車椅子、タンカ等移動手段の確保
防災物資等備蓄

【共 助 発災後】

- 災害時要援護者対策 災害時要援護者の避難を支援
タンカ、毛布等で移動を支援する
声掛け避難、一緒に避難
車椅子の人をできるだけ早く避難

- 連絡・情報対策 災害情報、被害情報等の確認
町内の安否確認
火災の有無を確認
火災の場合には消火器で初期消火
けが人の手当・救護

- 避難・誘導 複数で声掛けながら避難
一時避難所への誘導と避難先への支援
広い道を通る
できるだけグループで避難する